スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

岐阜県郡上市

自 治 体 名 ： 岐阜県郡上市
担 当 課 名 ： 教育委員会スポーツ振興課
電 話 番 号 ： 0575-66-2131

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

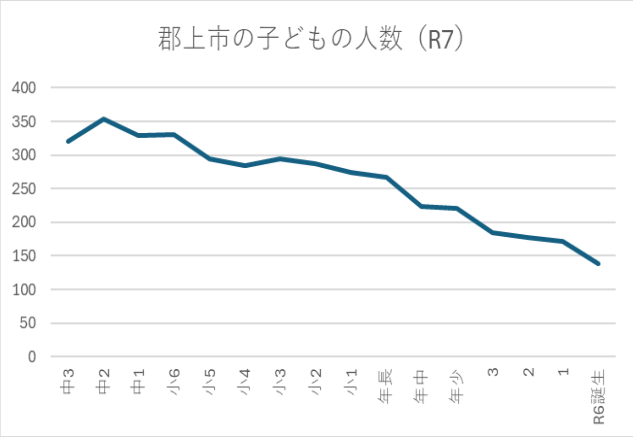
基本情報

面積	1,030㎢
人口	37,065人
公立中学校数	8校
公立中学校生徒数	994人
部活動数 （運動部活動のみ）	67部活
地域クラブ活動数	36クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

郡上市が地域連携・地域展開に取組む最大の目的は、持続可能な指導体制を構築することである。急速な少子化により、学校単位はもちろん、合同部活動であってもチーム編成が難しい種目が増えている。今後も少年スポーツ活動を継続していくためには、休日だけでなく平日も含めた地域スポーツクラブの運営体制を確立することが不可欠である。こうした課題に対応するため、指導者が主体となる指導体制を整備し、既存の組織内に「地域クラブ活動推進協議会」を設置した。協議会を中心に、持続可能なクラブ運営を目指した取組を進めている。地域展開を行うことで、各種目団体において必要な団員数と指導者数を確保し、活動内容の充実を図ることが可能となった。しかし、すべての種目を地域クラブとして統合していくためには、指導者や保護者等関係者間の共通理解をどのようにつくるかが、持続可能な地域展開の重要な鍵となる。

郡上市では、令和5年度から地域スポーツクラブへの展開を進め、地域クラブとして登録した種目団体は、令和5年度19%、令和6年度49%、令和7年度には100%に達した。現在は、多様な指導者体制のもと、地域展開が順調に進んでいる。また、指導者の質を確保するためのガイドラインも策定し、安心・安全な地域クラブ活動の実施を支えている。



郡上市の中学生の地域クラブ活動への加入率

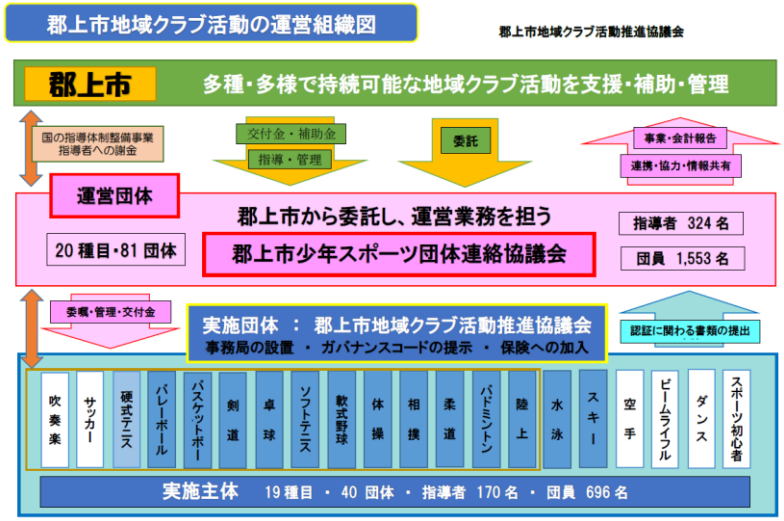
年度	生徒数（人）	クラブ員数（人）	加入率	指導者数（人）
令和6年	1,001	644	64%	168
令和7年	994	652	66%	170

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会
スポーツ振興課は、郡上市少年スポーツ団体連絡協議会に事業を再委託し、その監督・指導を行っている。一方、地域クラブ活動の実際の運営は、指導者組織である「郡上市地域クラブ活動推進協議会」が担っている。

◉首長部局
少年スポーツ団体に交付金を交付している。一団体につき、（5,500円×団員数）を交付しているが、使途については、指導者の保険料、指導者への謝金、登録費、審判謝礼、消耗品費等に限定している。市は総額1,000万円規模の補助を少年スポーツ活動に対して行っている。

年間の事業スケジュール

令和7年4月	県中体連への地域クラブ登録
令和7年4月	地域クラブ活動指導体制整備事業説明会
令和7年5月	第1回郡上市少年スポーツ団体連絡協議会理事会
令和7年8月	第1回郡上市地域クラブ活動推進協議会
令和7年10月	地域クラブ活動代表者説明会兼指導者研修会
令和8年2月	市内全小学校を訪問し、6年生児童に対して地域クラブ活動についての説明会を実施 保護者には、別途、各地域で夜間に説明会を実施
令和8年2月	第2回郡上市少年スポーツ団体連絡協議会理事会
令和8年2月	第2回郡上市地域クラブ活動推進協議会
令和8年3月	令和8年度用　郡上市地域クラブ活動説明会

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		36クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		30クラブ（67部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		6クラブ
全体の指導者数	160人	全体の運営スタッフ数	60人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
郡上南野球クラブ	郡上市地域クラブ活動	軟式野球	・平日　1回 ・休日　2回	17:30～ 8:00～	1年生6名 2年生9名 3年生12名	4月～3月	5人	3人 （内、兼務0人）	18,000円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
BC郡上	郡上市地域クラブ活動	軟式野球	・平日　2回 ・休日　1回	19:00～ 9:00～	1年生8名 2年生9名 3年生8名	4月～3月	5人	3人 （内、兼務0人）	26,000円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
郡上バレーボールクラブ	郡上市地域クラブ活動	バレーボール	・平日　3回 ・休日　1回	19:00～ 13:00～	1年生7名 2年生5名 3年生7名	4月～3月	3人	3人 （内、兼務0人）	24,000円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		36クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		30クラブ（67部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		6クラブ
全体の指導者数	160人	全体の運営スタッフ数	60人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
高鷲男子バレーボールクラブ	郡上市地域クラブ活動	バレーボール	・平日 3回 ・休日 1回	18:00～ 9:00～	1年生5名 2年生5名 3年生5名	4月～3月	5人	3人 （内、兼務0人）	60,000 円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
郡南バレーボールクラブ	郡上市地域クラブ活動	バレーボール	・平日 3回 ・休日 1回	17:30～ 8:00～	1年生0名 2年生3名 3年生5名	4月～3月	1人	3人 （内、兼務0人）	24,000 円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
八幡VC	郡上市地域クラブ活動	バレーボール	・平日 3回 ・休日 1回	18:00～ 13:00～	1年生7名 2年生5名 3年生4名	4月～3月	5人	3人 （内、兼務0人）	36,000 円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		36クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		30クラブ（67部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		6クラブ
全体の指導者数	160人	全体の運営スタッフ数	60人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
高鷲女子バレーボールクラブ	郡上市地域クラブ活動	バレーボール	・平日 3回 ・休日 1回	17:30～ 9:00～	1年生9名 2年生3名 3年生5名	4月～3月	6人	3人 （内、兼務0人）	36,000 円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
白鳥・大和バレーボールクラブ	郡上市地域クラブ活動	バレーボール	・平日 2回 ・休日 1回	19:00～ 9:00～	1年生0名 2年生10名 3年生10名	4月～3月	3人	3人 （内、兼務0人）	12,000 円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
アソンレンセ郡上FC	郡上市地域クラブ活動	サッカー	・平日 3回 ・休日 1回	19:00～ 8:30～	1年生21名 2年生12名 3年生16名	4月～3月	3人	3人 （内、兼務0人）	109,000 円/年額	U-13 U-14 U-15 の各リーグ

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		36クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		30クラブ（67部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		6クラブ
全体の指導者数	160人	全体の運営スタッフ数	60人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
GUJOバドミントンクラブ	郡上市地域クラブ活動	バドミントン	・平日 2回 ・休日 1回	18:00～ 9:00～	1年生12名 2年生16名 3年生9名	4月～3月	3人	3人 （内、兼務0人）	36,000 円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
白鳥ジュニアBC	郡上市地域クラブ活動	バスケットボール	・平日 2回 ・休日 1回	18:00～ 9:00～	1年生4名 2年生8名 3年生8名	4月～3月	3人	3人 （内、兼務0人）	12,000 円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
WILD MONKEYS	郡上市地域クラブ活動	バスケットボール	・平日 2回 ・休日 1回	18:30～ 14:00～	1年生9名 2年生12名 3年生3名	4月～3月	2人	2人 （内、兼務0人）	36,000 円/年額	U-13 U-14 U-15 リーグ戦

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		36クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		30クラブ（67部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		6クラブ
全体の指導者数	160人	全体の運営スタッフ数	60人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
Liencle	郡上市地域クラブ活動	バスケットボール	・平日 2回 ・休日 1回	18:00～ 9:00～	1年生6名 2年生3名 3年生2名	4月～3月	2人	2人 （内、兼務0人）	36,000円/年額	U-13 U-14 U-15 リーグ戦
BRIGHT GUJO	郡上市地域クラブ活動	バスケットボール	・平日 2回 ・休日 1回	19:00～ 9:00～	1年生2名 2年生8名 3年生0名	4月～3月	1人	1人 （内、兼務0人）	42,000円/年額	U-13 U-14 U-15 リーグ戦
美並剣道クラブ	郡上市地域クラブ活動	剣道	・平日 1回 ・休日 1回	19:00～ 9:00～	1年生2名 2年生1名 3年生4名	4月～3月	3人	2人 （内、兼務0人）	12,000円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		36クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		30クラブ（67部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		6クラブ
全体の指導者数	160人	全体の運営スタッフ数	60人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
八幡剣道クラブ	郡上市地域クラブ活動	剣道	・平日 2回 ・休日 1回	18:00～ 9:00～	1年生5名 2年生0名 3年生2名	4月～3月	4人	1人 （内、兼務0人）	12,000円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
若鮎剣志会	郡上市地域クラブ活動	剣道	・平日 2回 ・休日 1回	19:00～ 9:00～	1年生2名 2年生3名 3年生3名	4月～3月	1人	1人 （内、兼務0人）	24,000円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
大和ジュニア剣道クラブ	郡上市地域クラブ活動	剣道	・平日 1回 ・休日 2回	19:00～ 9:00～	1年生3名 2年生5名 3年生5名	4月～3月	3人	2人 （内、兼務0人）	8,000円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		36クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		30クラブ（67部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		6クラブ
全体の指導者数	160人	全体の運営スタッフ数	60人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日･休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
高鷲剣道クラブ	郡上市地域クラブ活動	剣道	･平日 3回 ･休日 1回	18:00～ 9:00～	1年生0名 2年生1名 3年生3名	4月～3月	2人	1人 （内、兼務0人）	36,000円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
白鳥剣道ジュニアクラブ	郡上市地域クラブ活動	剣道	･平日 2回 ･休日 1回	19:00～ 9:00～	1年生2名 2年生3名 3年生0名	4月～3月	6人	1人 （内、兼務0人）	20,000円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
郡上市剣道クラブ	郡上市地域クラブ活動	剣道	･平日 0回 ･休日 1回	9:00～	1年生14名 2年生13名 3年生17名	4月～3月	11人	2人 （内、兼務0人）	0円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		36クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		30クラブ（67部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		6クラブ
全体の指導者数	160人	全体の運営スタッフ数	60人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
郡上八幡体操クラブ	郡上市地域クラブ活動	体操	・平日 3回 ・休日 1回	17:30～ 9:00～	1年生3名 2年生5名 3年生1名	4月～3月	11人	3人 （内、兼務0人）	180,000円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
郡南卓球クラブ	郡上市地域クラブ活動	卓球	・平日 2回 ・休日 1回	19:00～ 8:30～	1年生4名 2年生6名 3年生3名	4月～3月	2人	1人 （内、兼務0人）	12,000円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
八幡西卓球クラブ	郡上市地域クラブ活動	卓球	・平日 0回 ・休日 1回	9:00～	1年生4名 2年生6名 3年生0名	4月～3月	12人	2人 （内、兼務0人）	36,000円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		36クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		30クラブ（67部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		6クラブ
全体の指導者数	160人	全体の運営スタッフ数	60人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
八幡卓球クラブ	郡上市地域クラブ活動	卓球	・平日 2回 ・休日 1回	19:00～ 9:00～	1年生5名 2年生0名 3年生2名	4月～3月	2人	1人 （内、兼務0人）	7,000円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
高鷲卓球クラブ	郡上市地域クラブ活動	卓球	・平日 2回 ・休日 1回	17:30～ 9:00～	1年生2名 2年生7名 3年生7名	4月～3月	3人	1人 （内、兼務0人）	10,000円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
郡上ソフトテニスクラブ	郡上市地域クラブ活動	ソフトテニス	・平日 0回 ・休日 1回	9:00～	1年生18名 2年生10名 3年生17名	4月～3月	9人	2人 （内、兼務0人）	48,000円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		36クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		30クラブ（67部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		6クラブ
全体の指導者数	160人	全体の運営スタッフ数	60人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
GJTC八幡	郡上市地域クラブ活動	硬式テニス	・平日 4回 ・休日 1回	19:00～ 9:00～	1年生5名 2年生13名 3年生0名	4月～3月	4人	1人 （内、兼務0人）	36,000円/年額	U-13 U-14 U-15 学年別大会
GJTC和良	郡上市地域クラブ活動	硬式テニス	・平日 2回 ・休日 1回	19:00～ 9:30～	1年生4名 2年生1名 3年生4名	4月～3月	2人	1人 （内、兼務0人）	15,000円/年額	U-13 U-14 U-15 学年別大会
GJTC明宝	郡上市地域クラブ活動	硬式テニス	・平日 2回 ・休日 0回	19:30～	1年生0名 2年生0名 3年生3名	4月～3月	1人	1人 （内、兼務0人）	12,000円/年額	U-15 学年別大会

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		36クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		30クラブ（67部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		6クラブ
全体の指導者数	160人	全体の運営スタッフ数	60人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
めいほうジュニアスキークラブ	郡上市地域クラブ活動	スキー	・1月から3月中旬	9:30 ～11:30 12:30 ～14:30	1年生2名 2年生2名 3年生1名	12月～4月	1人	1人 （内、兼務0人）	8,000円 /年額	スキー競技大会に地域クラブ活動として参加
ひるがのジュニアスキークラブ	郡上市地域クラブ活動	スキー	・平日　2回 ・休日　2回	9:00～ 15:00	1年生1名 2年生2名 3年生0名	12月～4月	4人	1人 （内、兼務0人）	8,000円 /年額	中体連大会には部活動として参加 高円宮杯中部日本スキー選手権大会には地域クラブ活動として参加
郡上ビームライフルジュニアクラブ	郡上市地域クラブ活動	ビームライフル	・平日　2回 ・休日　0回	19:30～	1年生2名 2年生2名 3年生5名	4月～3月	2人	1人 （内、兼務0人）	5,500円 /年額	連盟・協会の各種大会に地域クラブ活動として参加

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		36クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		30クラブ（67部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		6クラブ
全体の指導者数	160人	全体の運営スタッフ数	60人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
郡上スイミングクラブ	郡上市地域クラブ活動	水泳	・平日 3日	18:30～	1年生2名 2年生5名 3年生3名	4月～3月	3人	1人 （内、兼務0人）	72,600円/年額	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
実践空手白龍会館	郡上市地域クラブ活動	空手	・平日 4回 ・休日 0回	19:30～	1年生3名 2年生1名 3年生1名	4月～3月	25人	3人 （内、兼務0人）	2,000円/年額	連盟・協会の各種大会に地域クラブ活動として参加
和道会八幡支部	郡上市地域クラブ活動	空手	・平日 2回 ・休日 0回	19:30～	1年生1名 2年生0名 3年生0名	4月～3月	4人	2人 （内、兼務0人）	12,000円/年額	連盟・協会の各種大会に地域クラブ活動として参加

2.実証内容と成果

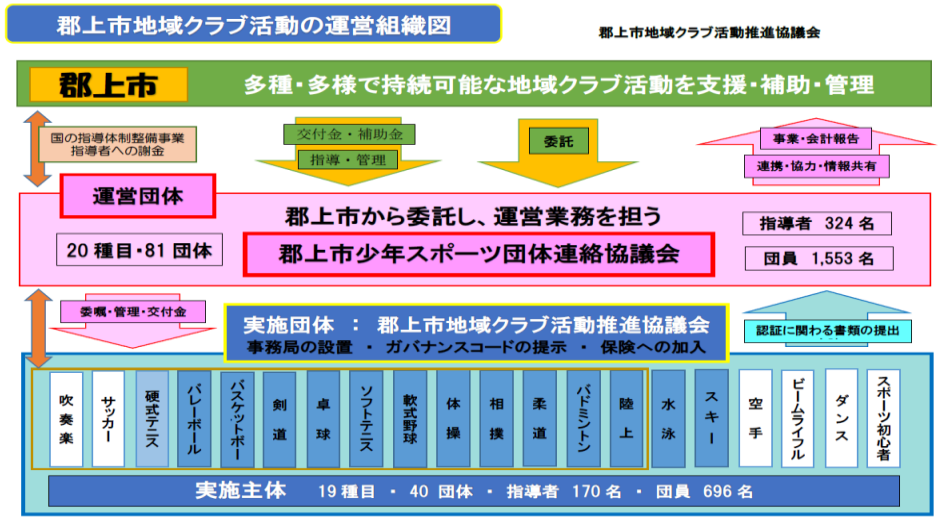
スポーツ庁

主な取組例

郡上市地域クラブ活動推進協議会　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	19種目40団体
運営団体名	郡上市地域クラブ活動推進協議会
期間と日数	4月1日～3月31日 月16回程度（平日3日、休日1日）
指導者の主な属性	地域指導者
活動場所	市内体育施設 市内各中学校体育施設
主な移動手段	保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	22,800円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●郡上市少年スポーツ団体連絡協議会

役割：指導者謝金の給付

●郡上市地域クラブ活動推進協議会

役割：事務局の設置、ガバナンス・コードの提示、競技種目間の調整・連絡

●郡上市地域クラブ活動推進協議会事務局

役割：郡上市地域クラブ活動の企画・立案、協議会の開催

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

郡上市の地域スポーツクラブ活動推進事業の核となっているのは、「郡上市地域クラブ活動推進協議会」である。この実施団体は、運営団体である既存の郡上市少年スポーツ団体連絡協議会の指導者部会に位置付いている。実施主体の代表者60名で構成され、19種目40団体の実施主体を統括し、持続可能な指導体制の確立を目指し、共通理解を図りながら、様々な課題の解決を図っている。

取組の成果

コーディネーターが地域スポーツクラブ活動への具体的な道筋や取組内容を企画立案し、市や実施主体である団体の指導者、生徒、保護者等に提示し、説明会を通してより多くの関係者の共通理解を図りながら地域スポーツクラブ活動への展開を進めている。それにより、地域クラブ活動への理解が進み、共感が生まれてきた。

今後の取組における課題

展開がスムーズに進むよう、特に現小学6年生と中学1・2年生への説明やサポートを徹底していく必要がある。また、教育委員会、学校そして各団体との共通理解が図れるようコーディネートしていくことが求められる。

今後は、スポーツ協会との連携を密にし、この組織をスポーツ協会の中に位置付けていきたいと考えている。

課題への対応方針

昨年度までは、12月から1月にかけて実施された中学校の入学説明会で市内の小学6年生とその保護者に対して郡上市地域クラブ活動の説明を行ってきた。しかし、令和7年9月に学校部活動が地域クラブ活動に全面展開した。そこで、本年度以降は、3月に市内全小学校を訪問し、6年生に対して地域クラブ活動の説明会を実施するとともに、保護者に対しても各地域で説明会を実施し、地域クラブ活動への理解を図っていく。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

ーコーディネーターが中心となり、地域スポーツクラブ活動への具体的な移行スケジュールや取組内容を企画・立案し、市および実施主体である団体の指導者、生徒、保護者等に対して提示した。

また、説明会の開催等を通して丁寧な説明を行い、関係者間の共通理解の醸成を図りながら、地域スポーツクラブ活動への円滑な展開を進めている。

特に今年度は、平日も含めて学校部活動から地域クラブ活動へ本格的に移行したことから、各中学校の校長・教頭をはじめ、中体連理事や中体連専門委員長との連携を強化し、運営方針や活動内容、課題等について情報共有を密に行った。

これにより、関係者間で認識の一致を図りつつ、円滑な事業推進に努めた。

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

- 3月下旬に、全ての団体の代表者を集め、郡上市地域クラブ活動説明会を開催した。その際、「郡上市地域クラブ活動ガイドライン（ガバナンスコード）」を参加者全員に配布し、計画に基づく事業運営、公正かつ適切な会計処理等についての具体的な説明を行った。さらに、安心・安全な指導体制を整えるよう、指導者との連携・協力についても指導した。
- 4月には、地域指導者全員を集め、「郡上市地域クラブ活動ガイドライン（ガバナンスコード）」を全指導者に配布するとともに、安心・安全で適切な指導ができる体制を整えるよう指導した。

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

- 「郡上市地域クラブ活動ガイドライン（ガバナンスコード）」には、緊急時対応マニュアル、熱中症の予防と対応、熱中症対応マニュアル、落雷事故の防止等に関する内容を明記している。それらの防止に努めるとともに、事故発生時の対応にも備える体制を整えている。
- 郡上市少年スポーツ団体憲章を記載し、指導者の指導姿勢に関わる具体的な姿を明記し、その啓発に努めている。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

郡上市の地域クラブ活動には、本年度、19種目40団体で170名の指導者が登録している。令和5年度より国の体制整備事業を活用し、時給1,000円の指導者謝金を支給している。それにより、郡上市の人材バンクに登録している指導者が実際の指導に携わる等、量の確保につながっている。

また、郡上市地域クラブ活動ガイドライン（ガバナンス・コード）を策定し、3月の代表者説明会や4月の指導者説明会で、すべての団体の代表者や指導者にガイドラインの内容を説明し、その遵守を呼び掛けた。

さらに、指導者資格の取得推進のため、資格取得者に対する支援を行っている。それにより、市内の指導者の資格取得者が増加している。

取組の成果

国の体制整備事業を活用し、1日3時間以内で土・日のどちらか1日を対象に時給1,000円を指導者謝金として交付している。原則一人18,000円を月の上限としているが、令和4年度までは、月に500～600円程度の謝金しか支払われておらず、この指導者謝金の大幅な増額が地域スポーツクラブ活動の体制整備に大きく貢献し、指導者の確保にもつながっている。また、指導者の質を保障するためには、指導者資格の取得推進が不可欠であり、指導資格の取得支援も成果を上げている。

今後の取組における課題

郡上市では、令和7年9月より学校部活動が平日も含めて地域クラブ活動に全面展開した。しかし、国の体制整備事業を休日に限定して活用しているため、平日の指導者謝金を支援することができていない。郡上市は、平日に関しても小中連携を中心にして地域クラブ活動の指導体制の整備を進めているため、平日の指導者への指導者謝金の確保が課題となっている。

また、複数指導体制と指導者資格の全員取得を目指しているが、資格取得にも費用がかかるため、地域指導者全員の資格取得を進めることは容易ではない。

課題への対応方針

郡上市では、指導者の確保および資質向上を図るため、資格取得に係る支援を行うとともに、県スポーツ協会が主催し無料で受講可能な「地域クラブ指導者育成研修会」への参加を積極的に呼びかけている。これにより、指導に関する基礎的な知識や技能の習得を促進している。また、市のスポーツ協会と連携し、地域の実情や競技特性に応じた指導者研修会の実施を検討・推進することで、実践的な指導力や安全管理能力の向上を図り、指導者の質のさらなる向上につなげていきたい。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

- 郡上市は大学や大企業もない。また、総合型スポーツクラブについては地域クラブ活動に関わる体制が整っておらず、今後もその見通しはない。しかし、地域住民による指導者の数は比較的多く、指導力も高い。指導者研修を実施することにより、さらに指導者の質を高めていく。
- 指導者謝金を確保することや、指導者資格の取得補助を実施することにより、若手指導者の確保・育成を進めていく。

指導者研修の内容

研修名	チームワークの大原則
講師	辻秀一　スポーツドクター
研修内容	・スポーツの価値 ・自己実現の欲求 ・スポーツは人間が育んだ文化 ・負けた時こそ真価が問われる ・スポーツは、心を整える能力を育む ・スポーツは単なる体育ではない

指導者研修受講者の声

- 普段、子どもたちに教えることはあっても、自分自身がこういった質の高い研修を受けることはめったになく、年に1度は、自ら積極的に研修を受ける機会を作っていきたいと改めて思った。
- 中学や高校の運動部活動で、体罰や暴言・暴力事案がいまだに起こっており、競技力の向上より、むしろ人間育成に向けたこういった指導を身に着けていくべきだと思った。

●参加者の声

参加者①
団体は足し算、チームは掛け算という考え方が心に残った。また、ドジャースの大谷のような生き方はまねできないけれど、参考にすることはできるという言葉に共感した。

参加者②
人間らしく生きるためには、「元気・感動・仲間・成長」が必要であり、それを感じることが人間らしさを保ち、人生の質を向上させるという言葉が心に残った。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

指導者の資格取得促進に向けた取組

郡上市地域クラブ活動推進協議会には、19種目40団体が登録している。登録の際、指導者が調査票を提出し、それをもとに160名が指導者登録している。サッカー、剣道、軟式野球、バレーボール、バスケットボール男子、卓球、陸上、硬式テニス、体操、相撲、柔道、ソフトテニス、バドミントン、ビームライフル、スキー、空手、水泳等19種目を対象に、すべての指導者が資格を取得するよう働きかけている。令和6年度までにJSPOのコーチ1・2の資格取得者は42名、スタートコーチとコーチングリーダーの取得者は31名、各団体の資格取得者は54名であり、令和7年度中に新たに、JSPOコーチ1・2は2名、スタートコーチ・コーチングリーダーは3名、各団体の資格は24名増加した。県の地域クラブ指導者のライセンス取得者は、資格が重複している指導者を含め、令和7年12月現在86名である。

指導者総数	160人
資格所持指導者数	132人
本年度資格を取得した指導者	29人

平日・休日の一貫指導に関する取組

郡上市では、休日は市内の中学生が集まり、一つのチームとして活動したり、複数チームが合同練習や交流試合を通し、一緒に活動する機会を増やしている。指導者も、中学生を指導する指導者同士が連携・協力して指導している。また、平日は地域ごとに小中連携して活動する団体が増えている。そうすることにより、平日は移動しなくても、それぞれの地域で活動が継続できるからである。指導者も、小・中の指導者がそれぞれ連携・協力して指導している。この指導体制は、生徒も指導者も含めて、休日は横の連携、平日は縦の連携が可能であり、特に指導者の指導体制の整備が重要な役割を担っている。

ただし、令和7年度までは、中学生の指導者には国の指導体制整備事業により時給1,000円の指導者謝金を交付しているが、小学生の指導者に対しては指導者謝金を支給することができていない。今後、平日の小・中連携の指導体制の整備を進めていく上で、指導者謝金の給付が大きな課題となっている。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

中学校校長会、中学校体育連盟、スポーツ協会等の理事会や役員会等で「郡上市の地域スポーツクラブ活動」について共通理解を図った。特に、令和7年9月に学校部活動が地域クラブ活動に完全展開するため、市の中学校長会や中体連理事、専門委員長との連絡を密にし、展開がスムーズに進むよう、また大会の開催が支障をきたすことの無いよう進めた。

これまで市内8中学校の入学説明会で実施していた地域スポーツクラブ活動の説明を、本年度からは、市内全ての小学校で実施し、6年生児童や保護者に直接説明し、地域クラブ活動への加入率の維持・増加を図る。

取組の成果

これまで、機会があるごとに保護者や指導者、地域住民に対する説明会を開催しており、地域スポーツクラブ活動に対する関係者の理解が進んだ。そのため、令和7年9月の学校部活動から地域クラブ活動への完全移行も、非常にスムーズに進んだ。

美濃地区中学校体育連盟との連携も密にしており、美濃地区大会も無事終了した。令和9年度には、専門委員長の多くが地域指導者となる予定である。

今後の取組における課題

郡上市では現在、指導者が主体となった「地域クラブ活動推進協議会」が推進役となり、地域クラブ活動への展開を進めているが、将来的には郡上市スポーツ協会の組織として位置付けていく予定である。そのため、スポーツ協会との連携が重要となってくる。

また、学校部活動が地域クラブ活動に展開することによる中学生の少年スポーツ団体への加入率の低下を防ぐため、各団体との加入促進に向け連携を強化する必要がある。

課題への対応方針

来年度から、地域クラブ活動推進会議の組織の位置付けを、市のスポーツ協会と本格的に協議し、展開の準備を進めていく必要がある。そうすることにより、中学生の指導組織から、幼・小・中・高を見通した育成組織に位置付けることができる。

中学生のスポーツ離れを防ぐため、小学6年生とその保護者を対象とした説明会を開催するとともに、地域住民に地域クラブ活動をアピールするための広報活動にも力を入れていきたい。

関係団体等との連携に関するスポーツ推進委員の取組

- 令和8年度から10年度までの3年間は、教育委員会が主導して平日の地域クラブ活動に着手する。その際、それぞれの地域における小中連携を主体として進めていき、その後、令和11年度からは、地域クラブ活動を市のスポーツ協会の下部組織に位置付けていく予定である。令和8年度から、スポーツ協会の事務局とともに、移管に向けた体制に取組む予定である。
- スポーツ推進委員との連携が進んでいないので、それぞれの地域におけるスポーツ推進委員の指導による地域クラブ活動を今後は企画していきたい。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

郡上市では、一部の地域や一部の種目に限定して進めるのではなく、「郡上はひとつ」の理念をもとに、全ての地域、全ての種目で部活動改革に取組んできた。地理的に南北に長く移動に時間がかかるため、平日は地域ごとに同じ種目の小学生と中学生が一緒に活動に取組む小中連携の活動を推奨している。そこに高校生や大人も加わり、スポーツを通じた地域の新たなコミュニティーに寄与していくことを願っている。

取組の成果

夜間の活動では小学生と中学生が一緒に活動している団体が増えてきた。基本的には、同じ体育館で同じ時間帯に別々の指導者が小・中に分かれて指導することが多く、コミュニケーションをとりながら一緒に活動する場面はまだまだ少ない。しかし、白鳥バレーボールクラブや直心舘のように、小中合同の練習をしたり、高校生が中学生を教えたり、中学生が小学生を教えたりする等、小中連携や中高連携の活動を積極的に進めている団体もある。また、石徹白SCのように、地域住民が主催する新たな地域クラブ活動も生まれている。

今後の取組における課題

改革を積極的に進める団体が増えてきた一方で、卓球や柔道等、指導者同士の意思疎通がなかなか進まず、指導体制が整わない種目団体がある。また、バスケットボールのように、中体連への参加資格が地域クラブ活動の実情に即していないため、地域クラブ活動の指導体制が整わない種目団体がある。

石徹白SCのように、地域に即した地域クラブが生まれる一方で、和良や明宝地域では、種目団体の受け皿が課題となっている。

課題への対応方針

地域クラブ活動推進協議会において、成果を上げている種目団体の好事例を紹介し、意識が低い指導者や種目団体の部活動改革に関わる意識改革を図っている。また、今後は、郡上ケーブルテレビ等を活用して、地域クラブ活動の広報活動を積極的に行い、地域住民の関心をさらに高め、地域全体の共通理解を図っていきたい。

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

郡上市は、地域スポーツクラブ活動の対象団体36団体に対し、交付金の交付、施設利用等の減免措置、大会参加費の補助等を実施し、保護者の地域クラブ活動への参加費用負担の支援を行っている。

1．交付金の交付

地域クラブ36団体に対し、一人5,500円×人数分の交付金を各団体に交付している。郡上市全体では、総額1,000万円程度を少年スポーツ団体に交付している。使途は、指導者の協会登録料や保険代、指導者への謝金、講習会・研修会等の講師謝金、消耗品代等である。備品購入は対象外で、団員の登録料や保険代は受益者負担としている。

2．施設利用等の減免措置

地域クラブ活動の各団体に対し、郡上市では、施設利用に対し100%の減免措置をとっている。また、電気使用料、夜間照明料に対しても100%の減免措置をとっている。

3．大会参加補助

地域スポーツクラブ活動の36団体のうち27団体に対し、春季大会、夏季中体連大会、秋季新人戦の年間3大会の地区大会と県大会でのスクールバスの利用を認めている。利用料は無料である。また、中体連の東海大会や全国大会への出場に際しては、参加生徒と指導者1名の旅費と宿泊費の補助を行っている。さらに、全国大会への出場者には激励会を開催し、激励金を給付している。

取組の成果

各団体は消耗品の購入や指導者の登録費用、保険加入、指導者謝金等に交付金を活用し、団体運営の負担軽減につながっており、それは受益者負担の軽減にもつながっている。さらに、市内の施設使用料や夜間照明料も100%の減免措置を実施しており、地域スポーツクラブにとっては、大きな経費削減となっている。

今後の取組における課題

市の財政が厳しい中、交付金を増額することは難しい。しかし、学校部活動が地域クラブ活動に完全展開した中で加入率を維持していくためには、いかに保護者負担の軽減を実施して行くかが大きな課題である。

課題への対応方針

少年スポーツ活動に対する市の支援は、県内の市町と比べてかなり手厚いと言える。したがってこれ以上、市の支援を望むことは難しい。各団体の分母を大きくすることと、この組織を市のスポーツ協会に移管し、組織改革を行うことにより課題に対応していきたい。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

収支バランス

- 国の体制整備事業を活用し、大きな収入を得ているが、その90%は、指導者への謝金と選手が大会等に使用するバスの借り上げ料である。
- 市独自の支援策としては、小学生を含む少年スポーツ団体に対して、一人5,500×団員数を80団体に交付し、参加費用負担の支援を行っている。
- 交付金の交付団体には、地域クラブ活動の団体36団体が含まれている。
- 交付金の使用については、指導者謝金、指導者の保険、指導者の弁当代、備品購入等に限定している。
- 団員の連盟や協会への登録料や保険料、個人持ちのユニホームの購入等、団員個人の支出に対しては受益者負担としている。
- 郡上市は、地域指導者主体の運営体制を整えることに重点を置いているため、指導者謝金が全体の支出の約74%を占めている。
- 地域クラブ活動の事務局は市役所に入っており、事務局員も市の会計年度職員のため、事務局運営費は大幅に抑えることができる。
- 令和8年度から10年度までの3年間は地域クラブ活動の事務局が教育委員会に位置付けられるが、令和11年度以降はスポーツ協会に移管する予定であり、事務局運営費等についても予算建てをする必要がある。

●収入

項目	費用	割合
公費	3,384,161	16.84%
事務局運営費	16,716,122	83.16%
合計	20,100,283	—

●支出

項目		費用	割合
地域クラブ活動費		18,138,000	90.2%
	諸謝金（指導者）	14,778,000	73.5%
	賃借料 バス借り上げ	3,360,000	16.7%
	消耗品費	−	—
	印刷製本費	−	—
	携帯電話 レンタル料	−	—
	雑役務	−	—
	生徒保険料	−	—
	指導者保険料	−	—
事務局運営費		1,962,283	9.8%
	謝金	−	—
	会場使用料	−	—
	スポーツ教室 開催費	−	—
	保険料		—
	人件費	1,743,600	—
	交通費	−	—
	印刷製本費	−	—
	消耗品費	42,483	—
	備品購入	−	—
	通信運搬費	20,000	—
	修繕料	−	—
	振込手数料	156,200	—
	一般管理費	−	—
	消費税相当額	−	—
合計		20,100,283	—

2.実証内容と成果

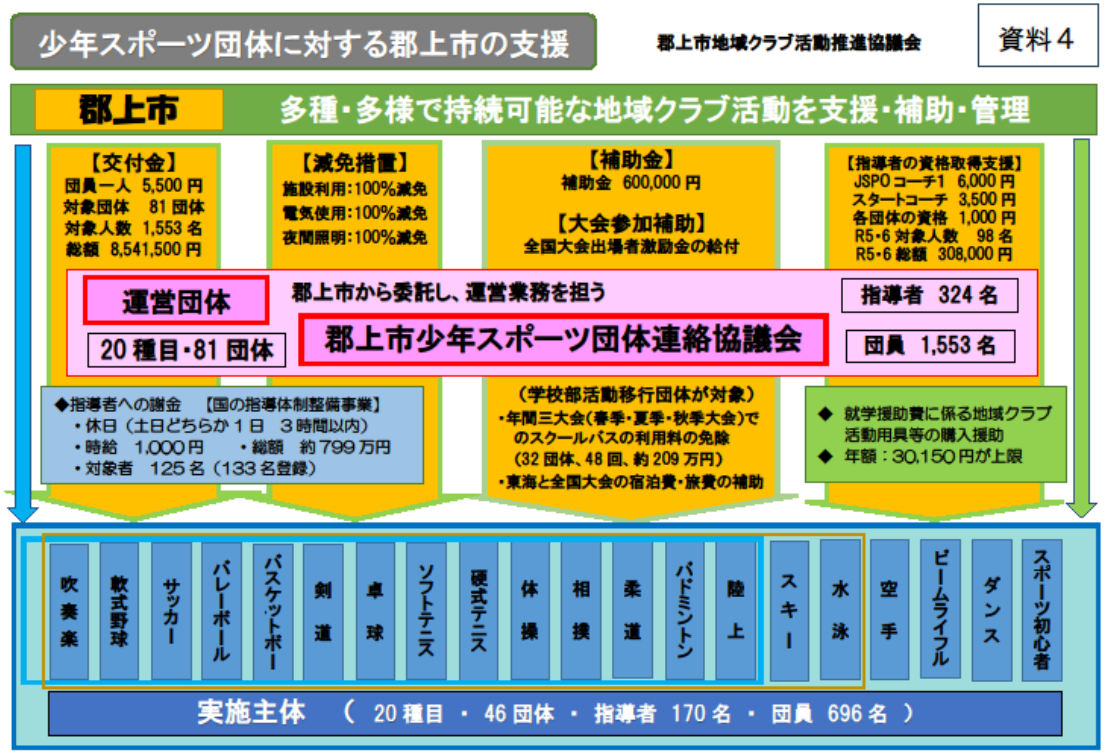
スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

持続可能な運営に必要な受益者負担額の試算

- 郡上市から各種目団体に対して交付金を交付している。5,500円×団員数を各団体に交付しており、一種目団体につき、最大で407,000円、総額約850万円となっている。
- 施設使用料、電気代、夜間照明料も100%減免措置を取っている。
- 秋の新人戦、春の春季大会、夏の中体連夏季大会の3大大会におけるスクールバスの使用は、市大会、地区大会、県大会を通して100%減免としている。32団体が48回使用し、総額209万円の補助を行った。
- 東海大会や全国大会の出場に対しても、選手と指導者2名に対して、旅費と宿泊費を補助している。
- 指導者の資格取得に関わる支援を行っており、令和5年から令和7年までの3年間で126名に対して総額50万円の支援を行った。



2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

郡上市は少子化が急速に進んでおり、少子化への迅速な対応が急務である。少子化が進んでも少年スポーツ活動を維持・推進していくためには、指導者主体の組織が中心となって進めることが最適であると考え、指導体制を整えてきた。郡上市の指導者は熱意があり、指導力を身につけた指導者が多い。そのうえ、各競技団体の核となっている指導者の多くが地域スポーツクラブ活動の主旨を理解し、その体制作りに積極的に参画している。さらに核となる指導者同士のネットワークを生かし、郡上市地域スポーツクラブ活動を市内のすべての指導者に浸透させる素地が整っている。それを活用して地域クラブ活動推進協議会を組織し、持続可能な指導体制に取組んできた。また、各種目団体だけでなく、連盟や協会が小中連携の活動を推進したり、指導者同士で休日と平日の指導を連携して進めたりする等、多種・多様な地域クラブ活動を推進している。

また、地域スポーツ活動を安心・安全に進めていくためには、指導者の質の保障と量の確保が不可欠である。国の事業（実証事業）を活用して指導者謝金を給付し、指導者のモチベーションを高めたり、指導者資格の取得推進を支援した。郡上市地域クラブ活動ガイドラインを策定し、安心・安全な地域クラブ活動を推進している。

●成果の評価

持続可能な地域スポーツ活動を展開するために、平日と休日の指導体制をそれぞれ整えていくことが不可欠である。平日はそれぞれの地域で、それぞれの地域指導者が主体となって小・中学生を一緒に指導することを基本としている。また休日は、同年代の児童・生徒が集まり、合同練習や交流試合を通して、市内の統一チームを目指した活動を進めている。したがって、休日の指導者は、それぞれの地域の指導者ではなく、小学生は市内の小学生の指導者が連携・協力し、中学生は市内の中学生の指導者が連携・協力して指導している。平日と休日の指導体制が異なるため、指導者間の共通理解が不可欠であるが、それを調整していくのが「郡上市地域クラブ活動推進協議会」である。協議会が機能することにより、それぞれの種目団体の調整だけでなく、競技種目同士の地域スポーツクラブ活動への共通理解も進んでいる。協議会は、郡上市の少年スポーツ全体の組織改革、指導体制作りに大きく寄与している。

●今後に向けて

休日の地域スポーツクラブ活動については、「郡上市地域クラブ活動推進協議会」が主体となった指導体制を整え、順調に展開を進めている。今後は、平日の地域スポーツクラブ活動を軌道に乗せていくことに重点をシフトしていく予定である。そのためには、小中連携が不可欠である。南北に長い地形である郡上市では、移動に時間がかかるため、平日は、それぞれの地域で小中が連携して指導体制を整え、「地域の子は地域で育てる」指導体制を整えていく必要がある。そのためには、小中連携の指導体制を整えていく団体に指導者謝金等を交付できるよう、財源の確保に努めていく必要がある。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

●参加者の声

参加者①
練習場所は遠くなったが、送迎をしてくださる保護者や情熱をもって指導してくださる指導者の方たちのおかげで目標に向かって日々練習に取組むことができる。そういった方々への感謝の気持ちを忘れずプレーしていきたい。

参加者②
郡上市クラブで活動することにより、他校の生徒と接する機会が増え、とてもいい経験になった。

参加者③
たくさんの大会や練習会に参加し、いろいろなチームとの交流を通してバレーを楽しむことができた。試合の時は相手の選手と仲良くする機会がほとんどなかったが、交流会をしたチームの子たちとは仲良くなれた

参加者④
バスケットボールの専門的な知識が増え、チームのみんなが強くなった。

参加者⑤
地域クラブとなって仲間が増え、協力して結果を出すことができた。

参加者⑥
平日の練習が遠方なので、参加できなくてさみしさを感じる。もっとみんながいっしょに練習できるとよいが、遠い。
遠いと親が送迎できないし、頼む人もいない時があって困ることがあった。

●指導者の声

指導者①
子どもたちが楽しく目標に向かって頑張れるように、監督やコーチで話し合いをして指導方針を確認し合った。

指導者②
コミュニケーション能力の面では、練習の振り返りの提出、選手同士の話し合いを頻繁に行うことで、自分と向き合うことができるようになった子どもたちの成長を感じた。

指導者③
競技力の向上だけでなく、育成の観点からも子どもたちの成長が見られ、毎回の練習や試合等を楽しみにしている。

指導者④
今後も、「感謝の心」と「自分で考えて楽しんで行動する」ことができる子どもの育成を主体として、子供の成長を主軸に置いた活動ができるようにしていきたい。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

指導者⑤
学年ごとに大会が組まれており、多くの子どもたちが大会に参加できることはよいことだが、大会に出るためには参加費が必要である。また、屋外競技であるために備品も傷みやすい。交付金の増額をお願いしたい。

指導者⑥
器具が古く、安全面が心配である。スポンサーの協力、クラウドファンディング等を利用して賄っているが、施設整備と備品購入の補助を強く要望する。

指導者⑦
遠方からの保護者の送迎負担を考えた練習場所の確保や活動資金の調達等、まだまだ運営方法について育成会と相談しながら改善していきたい。

●保護者の声

保護者①
地域クラブ活動に移行し、子どもたちの士気も上がり、よりいっそう練習に真剣に向き合うようになった。あとは、子どもたち同士がお互いを尊重し合ってより良いチームになるよう見守りたい。

保護者②
学校単独ではチームが成り立たないので、地域クラブとなってある程度の人数が集まって活動できることはありがたいことだと思う。

保護者③
勝つことを目標とすることももちろん大切だが、その過程を楽しみながら今後も忍耐力や仲間との協調性を育んでいってほしい。

保護者④
子どもたちが生き生きと取組む姿を見て、親は幸せだった。本当に楽しかった。

保護者⑤
技術だけでなく、チームワークや感謝の心等を指導してくださる指導者のおかげで子どもたちは大きく成長している。

保護者⑥
年間3大会のスクールバスの使用を認めていただいていることはありがたいが、カップ戦や練習試合等でもスクールバスを使用できるよう、年間10回まで使用できる等、使用制限をもう少し広めていってほしい。

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料



【郡上市剣道クラブ（休日の市内中学生の合同練習）】



【若鮎剣志会（平日のそれぞれの地域での小中合同練習）】



【美並剣道クラブ（平日のそれぞれの地域での小中合同練習）】



【直心舘（平日のそれぞれの地域での小中合同練習）】

2.実証内容と成果⑤

スポーツ庁

参考資料



【郡上Jrアスリートクラブ（市内5校の中学生が参加）】



【アソンレンセ郡上（市内7校の中学生が参加）】



【BC郡上（市内北部の3中学校の生徒が参加）】



【郡上南野球クラブ（市内南部の4中学校の生徒が参加）】

2.実証内容と成果⑥

スポーツ庁

参考資料



【郡上バレーボールクラブ（市内5校の中学生が参加）】



【郡上ソフトテニスクラブ（市内4校の中学生が参加）】



【GUJOバドミントンクラブ（市内3中学校の生徒が参加）】



【女子バスケLiencleと男子バスケWILD Monkeysの合同練習】

2.実証内容と成果⑦

スポーツ庁

参考資料



【石徹白SC（9月に始まった地域住民が主催する地域クラブ活動）】



【郡上相撲クラブ（相撲連盟が主催する地域クラブ活動）】



【郡上ビームライフルジュニアクラブ（協会が主催する地域クラブ活動）】



【郡上ブルーズスポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）】

2.実証内容と成果⑧

スポーツ庁

参考資料



【郡上スイミングクラブ（令和6年に中体連大会に出場可となった）】



【郡上八幡体操クラブ（郡上市体操協会が主催する地域クラブ活動）】



【GJTC八幡（中学生がボランティアとして運営に参加）】



【アソンレンセ郡上FC（徹夜おどり会場の清掃ボランティア活動）】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年		令和6年		令和7年	令和8年
受け皿団体や指導者組織、協議会設置等の検討開始	学校現場との調整、生徒、保護者への説明	休日の地域クラブ活動の開始	休日の地域クラブ活動の充実	休日の地域クラブ活動への移行完了	休日の地域クラブ活動の充実と平日の地域クラブ活動への拡大

●ステークホルダー

市内の小学6年生の児童・保護者
中学生種目団体の指導者

●経過

12月　中学校入学説明会で説明
3月　地域クラブ活動推進委員会の原案作り

●実施内容、工夫した点 等

校長会や種目団体の指導者・代表者へのヒアリングをもとに作成した「郡上市の地域クラブ活動」の説明会を12月に行われた市内全8中学校の入学説明会で、6年生児童と保護者にプレゼンを使って説明した。また、令和5年に向けて、郡上市地域クラブ活動推進委員会の設置準備を行った。

●ステークホルダー

中学生種目団体の指導者・代表者
生徒・保護者
地域住民

●経過

4月　地域クラブ指導者への説明会
7月　地域クラブ活動推進協議会
10月　市のケーブルテレビでプレゼン
12月　中学校入学説明会で説明
2月　地域クラブ活動推進協議会
3月　地域クラブ代表者への説明会

●実施内容、工夫した点 等

より多くの市民に郡上市の地域クラブ活動を理解してもらうため、ケーブルテレビを活用して、約2か月間にわたって説明録画を放送した。

●ステークホルダー

中学生種目団体の指導者・代表者
生徒・保護者
中体連理事・専門委員長

●経過

4月　地域クラブ指導者への説明会
8月　地域クラブ活動推進協議会
10月　指導者研修会
2月　小学校6年生への説明会
2月　小6保護者への説明会
3月　地域クラブ代表者への説明会

●実施内容、工夫した点 等

9月に部活動から地域クラブ活動に全面移行したため、8月の推進協議会には中体連の理事・専門委員長に参加してもらい、引継ぎを実施。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

